

地域と医療で咲くコミュニケーション

あまが咲

2025
2月
No.129



兵庫県立尼崎総合医療センター
Amagasaki General Medical Center (AGMC)

だより

[診療科紹介] 救命救急センター

[部門紹介] PFM部門



表紙写真撮影者/産婦人科 H.S.



- [AGMCニュース] 災害対応訓練を実施しました
- [ぶらり〜っと病院探訪] るんるんルームのご紹介
- 病状説明の平日勤務時間内実施
- 第36回日本小児口腔外科学会総会・学術大会学術奨励賞 受賞

救命救急 センター

安全・最善・最先端の
救急医療を提供します

救命救急センターは重症患者さんの救命を使命とする部門です。急速な高齢化と医療の高度化に伴い、患者さんが抱える健康上の課題も複雑化してきています。救命救急センターでは各診療科と連携して、最善・最先端の救急医療を提供するとともに、安全・安心を地域の皆様にお届けします。

ER総合診療科、救急集中治療科、EICU、1階および5階救急病棟

構成メンバー



【左から】 鈴木救命救急センター次長/西内救命救急センター長



【左から】 初療師長/5階救急師長/1階救急師長/EICU師長

提供する活動内容

救命救急センターを受診される患者さんの診療は、救急外来看護師によるトリアージ(=緊急性の評価)の後、緊急度が高い患者さんから順番にER総合診療科医師が初期診療を行います。専門的な診療や入院が必要と判断した場合は各診療科に診療を引き継ぎます。集中治療を必要とする重症患者さんは、救急集中治療科がEICUで診療を担当します。

2023年は、全国の救命救急センター304施設中、西日本でトップの13,414人の救急患者を受入れました。(全国では4番目)



EICU



5階救急病棟 家族待合



患者さんや 地域医療機関への メッセージ

救命救急センターの役割上、緊急度が高い患者さんを最優先に診療いたしますので、緊急度によっては診療までの待ち時間が長くなる場合があります。ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

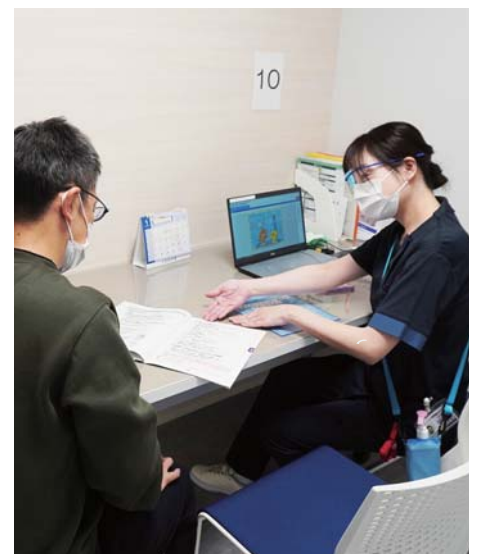




入院前のギモン解決！！ 入院生活に向けた こころとお身体の準備を お手伝い

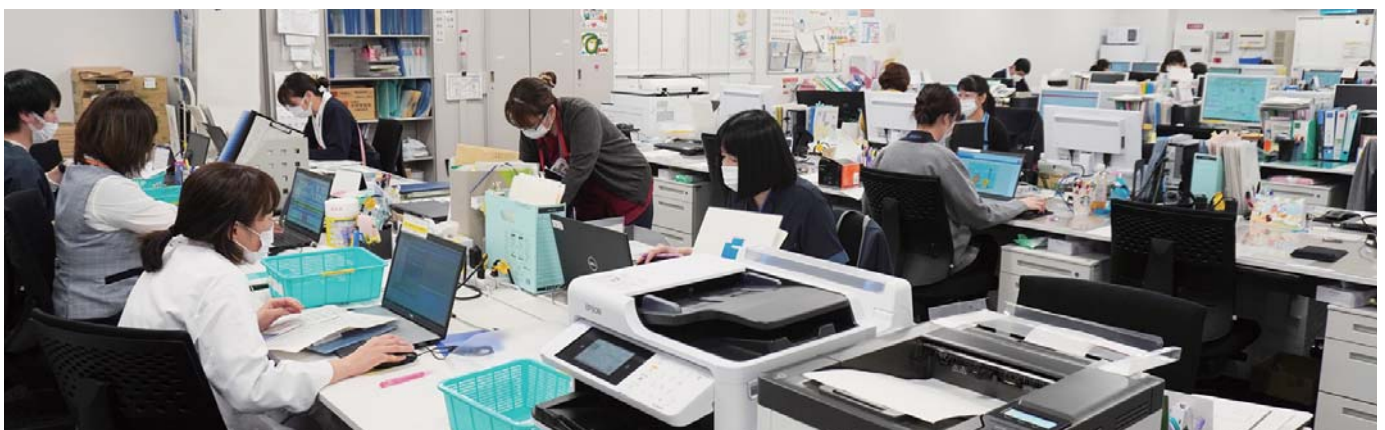
PFM(Patient Flow Management)とは、患者さんの入院前から退院後までをサポートする仕組みの事です。
入院前の面談にて入院や手術の流れを詳しくご説明し、患者さんの不安をできるだけ取り除くお手伝いをしています。
入院前に患者サポートセンターへ足を運んで頂いて、以下を行います。

- 現在の生活をうかがい、心配なことや困りごとを確認します。
- 治療に向けてこころとお身体の準備ができるよう説明します。
- 入院中の生活と持ち物について説明します。



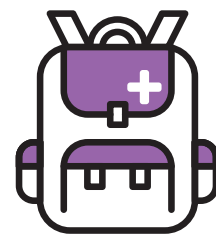
以下の他職種の連携、協働により患者さんの支援を行っています

- ・麻酔科医師：手術予定がある方は必要時に診察と麻酔方法について説明します。
- ・看護師：入院から退院後までをサポートします。
- ・手術看護師：手術予定がある方へ安心して手術を受けられるようサポートします。
- ・薬剤師：服薬中のお薬を確認します。
- ・栄養士：必要時にお食事状況やアレルギーについて確認します。
- ・医療ソーシャルワーカー：介護保険などの制度について、医療費に関する相談に応じます。
- ・事務：入院時間の確認や入院手続きについて説明します。





AGMCニュース



災害対応訓練を実施しました!

11月6日(木)に院内全体で初動対応に重点をおいた災害対応訓練を実施しました。今回は災害対策本部の設置の他、想定される被害に臨機応変に対応するという訓練を行いました。



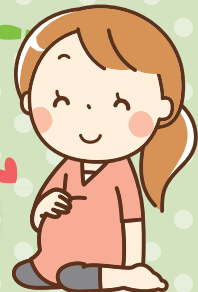
「備えあれば憂いなし」頻発する災害に医療機関としてどう備えるか、日頃からの防災意識が重要であると学びました。



車いすの寄贈をいただきました

尼崎武庫ライオンズクラブ様が創設45周年を迎えられるにあたり、当センターへ車いす5台を寄贈いただきました。(令和6年12月16日) 寄贈いただいた車いすは院内にて活用させていただいております。当センターへの温かいご支援に深く感謝申し上げます。





広報委員が院内取材してレポート!
ぶらり~っと
病院探訪

るんるんルーム

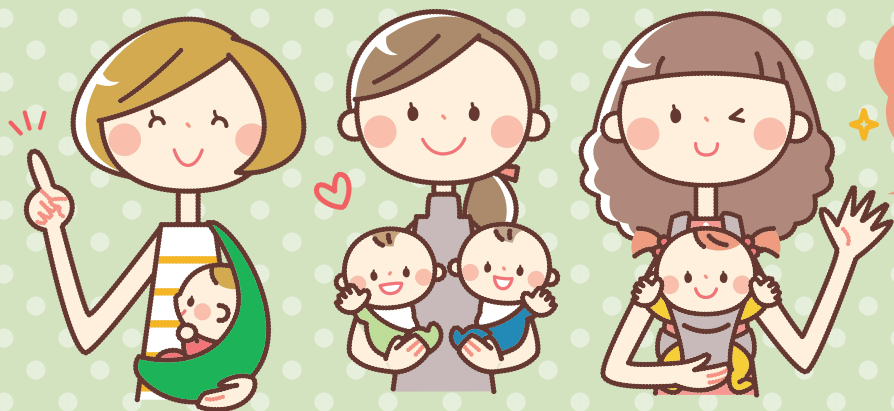
毎月2回開催!

子育て交流ひろば

今回は、子育て交流ひろば「るんるんルーム」へ行ってきました。
伺った日は、当院の講堂が会場でした。会場は、お子さんが遊具
で遊ぶ声や笑い声で元気いっぱい!
「るんるんルーム」は、生後1ヵ月から未就学時までのお子様と
保護者、妊婦を対象とした子育てひろばです。



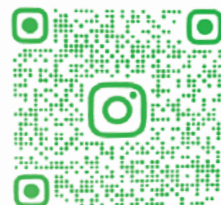
兵庫県立尼崎総合医療センターと兵庫県立大学看護学部周産期ケア研究センターとの連携事業と
なっています。お子さんの成長に関する疑問を看護専門職に質問したり、保護者の皆さんで普段の
様子を話されたりと和やかな雰囲気でした。ハンドマッサージを受けながら、子育て以外の話をす
ることもリフレッシュのひとつですね。保護者の方の笑顔が印象的でした。



みんなで
お話ししよう!

次回の開催日や
詳細情報はこちら↓

Instagram



LUNLUNROOM_OFFICIAL



お知らせ掲示板



医師の働き方改革

病状説明の平日勤務時間内実施

兵庫県立病院では、患者さんに安全で良質な医療を持続的に提供できるよう、
医療従事者の働き方改革に取り組んでいます。

県立病院での**病状説明**は、病状の変化や緊急時など、
 医師が必要と認めた場合を除き、
原則、平日勤務時間内に実施します。



歯科口腔外科の小野三起子先生が 第36回日本小児口腔外科学会総会・ 学術大会学術奨励賞を受賞しました

日本小児口腔外科学会は、小児の育成医療と口腔外科的疾患の診断・治療・予防に係る学術研究と臨床活動を介して小児医療の向上を目指しています。2024年11月8日、9日にかけて開催された「第36回日本小児口腔外科学会総会・学術大会」において、歯科口腔外科の小野三起子先生が学術奨励賞を受賞されました。この受賞は小児口腔外科第33巻第1号に掲載された小野先生の論文「当院における上顎前歯部過剰歯の臨床的検討」が、小児口腔外科の学術の進歩・発展に寄与する優秀な論文であると認定されたことによるものです。



小野先生
 からの
 受賞コメント

この度は私の論文が評価されてたいへん光栄です。上顎前歯部過剰歯は臨床において決して少ない症例ではございません。対象患者には小児が多いこともあり、手術に関しては身体的、精神的な配慮が必要です。そのため今後も安全に手術を行えるように私の研究が活かさればと考えます。最後にご指導いただきました先生方、共同研究者の皆様に感謝いたします。今回の受賞を励みに今後も精進していく所存です。



編集後記

寒さが厳しい季節になってきました。入院中の患者さんとの会話は天気のことから始まることが多いです。「今日は朝から息が白くなってましたよ」「入院していると季節も全然わからなくなります…」こんな時、入院は非日常であることを実感します。一進一退の治療に向き合いつつ、毎日のリハビリに取り組んでいる患者さん一人一人が少しでも早く日常を取り戻せるようにリハビリテーション部一丸となって、日々の治療に取り組んでまいります。 (A.Y.)



兵庫県立尼崎総合医療センター

Hyogo Prefectural Amagasaki General Medical Center (Hyogo AGMC)

〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町2丁目17番77号 TEL.06-6480-7000(病院代表) FAX.06-6480-7001

URL:<https://agmc.hyogo.jp/>

兵庫県立尼崎総合医療センター

検索